

## ロマン諸語における語の有縁性と比喩表現について (4) - 1

— ロマン諸語（フランス語，イタリア語，ルーマニア語，スペイン語，ポルトガル語）と日本語の故事，諺，成句にみられる四大（地・水・火・空気）による比喩表現を中心として —

小 倉 博 史

〈Résumé〉

La terre, c'est un lieu où l'on enterre. En français, «être sous six pieds de terre signifie «être mort», en espagnol, estar comiendo la tierra (= être mangeant la terre). en portugais, descer a terra (= descendre à terre) signifie «mourrir». La terre étant associée à un lieu bas, où l'on met quelqu'un pour le cacher ou le rabais ser. Ainsi «plus bas que terre» signifie le mépris, «vou loir être à cent pieds sous terre» montre que l'on éprouve une grande honte mais «se taper le derrière par terre» indique de grands éclats de rire. «battare la terra» (battre la terre) a le même sens que l'expression roumaine «a face una cu pamînt» (= faire un avec la terre) soit «affaiblir, détruire».

Pour dire que quelqu'un ou quelque chose disparaît [apparaît] brusquement, un Espagnol utilisera l'expression «tragarsele a uno la terra» (= avaler la terre) alors qu'un Roumain dira «a iesi din pamînt» (= sortir de la terre) pour une apparition soudaine. Le proverbe «La goutte creuse la pierre» se retrouve dans toutes les langues romanes avec la même signification: Il n'est pire eau que l'eau qui dort. «Il faut se méfier des gens d'apparence». Ce qui est «à l'eau de rose» est insipide pour un Français, une apparence pour un Italien et une flatterie pour un Espagnol. Dans l'expression «avoir l'eau à la bouche», l'eau est la métonymie de la salive: on salive d'envie. «pêcher en eau trouble» autrement dit tirer avantage d'une situation trouble se retrouve également dans toutes les langues romanes excepté le roumain. Lorsqu'un Français «se jette à l'eau», il prend une décision brusque alors qu'un Espagnol, avec la même expression «ose, risque quelquechose». «l'acqua alla gola» (= l'eau à la gorge) indique qu'un Italien se trouve dans un état alarmant. «estar con el agua al cuello» (= être avec de l'eau jusqu'au cou) montre l'immobilité chez un Espagnol. Lorsque «Les eaux sont basses» pour un Français, sa situation financière est mauvaise. Si un Français ou un Espagnol «porte de l'eau à la rivière (à la mer) un Italien «bat l'eau avec un mortier» (pestare l'acqua nel mortaio), un Portugais «porte de l'eau avec un panier» (carregar agua en cesto (peneira), chacun d'entre eux fait un don inutile.

### 0. はじめに

古代の人々が自然界を構成すると考えた基本要素である地・水・火・空気の四大は，古今，洋の東西を問わず人間が生きていく上において基本的なものであり，必要不可欠なものである。古

代インドにおいては、「個我」を意味するアートマンはインド哲学における最も重要な概念の一つであり、「氣息」「生命」「自身」などを意味する精神的原理として考えられていたのに対して、四大は一切の物質的原理として考えられていた。四大の中で、とりわけ水と火は文明の発達にはなくてはならない重要な要素である。前者の場合は、世界の四大文明発祥の地であるエジプト、メソポタミア、インド、中国に、それぞれナイル、チグリス、ユーフラテス、インダス、黄河という大河が存在し、水が運搬や作物の生産に大いに役立ったこと、後者の場合は、火の起源の神話が世界各地に数多く存在し、火の使用が生活の向上に大いに寄与したこと、などからも明らかである。そこで、本稿では、西欧と日本の四大と人間との関わりについて考察すると共にロマン諸語間の共通点と相違点について論じる。

### 1-1. terre・地

四大	種類	表現	意味	転義
terre	隠喩 空中	entre ciel et terre [R] [S] <sup>1)</sup>	(空と大地の間→) 空中に、宙に	陸地, 土, 土壤, 地方, 地球, 世界
	隠喩 死	être sous six pieds de terre = avoir six pieds de terre sur la terre [S]	(地面の6フィート下にいる→) 死んでいる	
	隠喩 倒れる	mesurer la terre	(地面を測る→) ばったり倒れる	
	隠喩 蔑む	mettre qn. plus bas que terre [R]	(人を地面より低く置く→) 蔑む	
	隠喩 浮いている ようだ	ne pas toucher terre	(地面に触れない→) 足が地に付かない	
	隠喩 真っ暗	On ne voit ni le ciel ni le ciel ni la terre	(空も大地も見えない→) 真っ暗である, 何も見えない	
	隠喩 背が立たない	perdre la terre [R]	(地面を失う→) [水中で] 背が立たなくなる	
	隠喩 焦土作戦	politique de la terre brûlée [R] [S]	(敵軍に利用されないよう, 自らの施設などを焼き払う戦術→) 焦土作戦	
	隠喩 悲嘆にくれる	porter le diable en terre	(悪魔を埋葬する→) 悲嘆にくれている	
	隠喩 離農, 死亡	quitter la terre	(地面を離れる→) 離農する, 死ぬ	

	隠喩 ふさぎ込む	regarder à [par] terre = avoir les yeux fichés en terre	(地面越しに見る→) ふ さぎこんでいる	
	隠喩 奔走する	remuer ciel et terre <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span>	(空と大地を動かす→) 奔走する	
	隠喩 着陸する	reprendre terre	(地面を再び手にする →) 着陸する	
	隠喩 笑い転げる	se taper le derrière par terre	(自分の後部で地面をた たく→) 笑い転げる, 嘲 る	
	隠喩 恥ずかしい	vouloir être à cent pieds sous terre	(地下 100 フィートのと ころにいたい→) 穴があ つたら入りたい, 汗顔の至 りだ	
(ital.) tèrra	隠喩 至る所	L'ho cercato per mare e per tèrra	(それを海と陸を探した →) 至る所それをし回っ た	現世, 世界, 大地, 国土, 地面
	隠喩 衰弱させる	buttare [gettare, prostrare] a tèrra	(地面に倒す→) 弱さ せる, 陥れる	
	隠喩 元気をなく す, 零落す る	essere a tèrra	(地面にいる→) 元気を なくす, (経済的に) 零落 する	
	隠喩 出来の悪い	essere tèrra	(地面である→) 出来の 悪い, 欠けている	
	隠喩 苦境に陥れ る	mettere qucu. a ~	人を地面に置く→) 人を 苦境に陥れる	
(roum.) pamînt	隠喩 破壊する	a face una cu pamînt	(地面とともに一つにす る→) 破壊する, 滅ぼす	陸地, 地方, 国
		A da la pamînt	(地面の方へ引き渡す →) 破壊する, 取りす	
	隠喩 現われる	a iesi ca din pamînt	(地面から現われる→) 忽然と現われる	
	隠喩 必ず	din pamînt, din iarba verde	(地面から, の芝生から →) どんなことをしてで も	

(esp.) tierra	隠喩 尊厳のしるし	besar la tierra	(大地に接吻をする→) (尊敬のしるしとして) 大地に口づけする, うつむきに倒れる	陸, 地面, 土地, 土壌, 故郷, 地域, 現世, [電]アース
	隠喩 深謝	besar la tierra que (+ uno) pisa	(人の足元に接吻をする→) 人に深く感謝している	
	隠喩 倒れる	caer por tierra	(地面のあたりに倒れる→) 倒れる, (夢, 期待が消え去る)	
	隠喩 覆す	echar a [por] tierra	(地面の方へ放り投げる→) (計画などを) 覆す, 駄目にする	
	隠喩 謙る	echarse por tierra	(地面に飛び込む→) 謙る	
	隠喩 至る所	en toda [qualquier] tierra de garbazos	(ヒヨコマメのあらゆる土地で→) 津々浦々で, 至る所で	
	隠喩 墓に入っている	estar comiendo [mascando] la tierra	(地面を食べる [噛む]→) とくに墓に入っている	
	隠喩 足元がぐらつく	fartarle (la) tierra (+ uno) debajo de los pies	(人の足元で地面が足りない→) (人の) 足元ぐらつく	
	隠喩 身を隠す	poner tierra por medio	(中央に地面を置く→) 身を隠す	
	隠喩 乗り損ねる	quedarse en tierra	(地面に居残る→) 乗り損ねる	
	隠喩 苦勞して手に入れる	sacar (+ algo) de debajo de la tierra	(物を地面の下から取り出す→) (何かを) 苦勞して手に入れる	
	隠喩 恥ずかしい	Tragame, tierra!	(飲み込みなさい→) 穴があつたら入りたい	
	隠喩 姿を消す	tragarsele a (+ uno) la tierra	(地面に人を飲み込む→) 人が忽然と姿を消す	
	隠喩 倒れる	venires [irse] a tierra	(地面に帰ってくる [行く] →) 倒れる, 駄目になる	

(port.) terra	隠喩 取り壊す	ditar por terra	(地面のあたりに横たえる→) 取り壊す	地面, 土壤, 陸, 散り, 故郷, 集落, 住民, 世間, 所有地, 空き地, 粘土, 現世
	隠喩 死ぬ	descer à terra	(地面に下がる→) 死ぬ	
	隠喩 逃げる	largar terra para favas	(ソラマメ用に土地を譲る→) 逃げる	
	隠喩 中立地帯	terra de ninguém	(誰もいない土地→) 中立地帯, 誰もが干渉し口出しするような状況 (問題)	

フランス語, スペイン語, ポルトガル語では, 土地 埋葬する場所であることから, フランス語では地面の6フィート下にいる, スペイン語では地面を食べる [囓む] から, ポルトガル語では地面に落ちることから, それぞれ死んでいる, とっくに死んでいる, 死ぬの意。フランス語では, 空と大地の間から空中, 地面に触れないから足が地につかない, 地面を離れるから離農するの意, 地面は低い, 隠れる場所という連想から, 地面より低く置くで, 蔑むの意。地面越しに見る, つまり俯いている姿勢を連想することからふさぎ込んでいる, 地下100フィートくらいの所に居たいから穴があったら入りたい, 自分の背部で地面をたたくというのは笑い転げる様子を連想しているのであろう。フランス語とイタリア語では, 空と地や海と陸を動かす [探す] から奔走するの意。イタリア語, ルーマニア語では, 地面に倒す [~と一つになる: ~に引き渡す] から, 破壊するの意, ルーマニア語では地面から現われる, スペイン語では人を地面に飲み込むから前者は忽然と現われる, 後者は忽然と姿を消すの意。スペイン語では地面に接吻するから尊敬や深謝のしるし, 地面に飛び込むことから謙るの意。ポルトガル語では, 地面に横たえるから取り壊すの意, 誰もいない土地から中立地帯の意。

1-2. terre・地による比喩表現の要因

	特性	連想	諺	その他
フランス語	8	7		
イタリア語	1	4		
ルーマニア語	2	2		
スペイン語	7	7		
ポルトガル語	2	2		

## 2-1. eau・水

四大	種類	表現	意味	転義
eau	隠喩 感傷的な	à l'eau de rose <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span>	(バラの水で→) (作品などが) 感傷的な,	飲料水, 生活用水, 海 [川, 湖] の水, 雨, 液, 体液, 煮汁, 果汁, 純度
	隠喩 便宜を図る	apporter [amener, porter, faire venir] d'eau au moulin de qn. <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span>	(人の水車に水を引く→) …に便宜を図る	
	隠喩 無益な行動	apporter [porter] de l'eau à la rivière [à la mer] <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">S</span>	(川へ [海へ] 水を運ぶ→) 無益なことをする	
	隠喩 成行にまかせる	au fil de l'eau	(川の糸に→) 水の流れのままに	
	隠喩 欲望	avoir l'eau à la bouche <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">S</span>	(口元によだれを持つ→) 欲しくてたまらない	
	隠喩 不景気	basses eaux <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">S</span>	(最低水位→) 不景気	
	隠喩 無駄骨を折る	battre l'eau (avec un bâton) <sup>2)</sup> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">S</span>	(棒で水を打つ→) 無駄骨を折る	
	隠喩 ひどい味	C'est de l'eau de vaisselle <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">S</span>	(これは食器を洗った水だ→) ひどい味だ	
	隠喩 糠に釘	C'est un coup d'épée dans l'eau. <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">S</span>	(水の中の剣の一撃だ→) 焼け石に水だ, 無駄なことだ	
	隠喩 適切な値段で	dans ces eaux-là <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span>	(これぐらいの水位で→) これぐらいの値段で	
	隠喩 同類の	de la même eau <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span>	(同じ水の→) (軽蔑して) 同類の	
	隠喩 純度が最高の	de la plus belle eau <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">S</span>	(最もきれいな水で→) 純度が最高の, (悪い意味で) (人が) 並外れた	
	隠喩 空約束	eau bénite de cour <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span>	(宮廷の聖水→) 空約束, おべっか	
	隠喩 どっちつかず	entre deux eaux	(二つの水の間で→) 選択を避けて, どっちつかずで	
隠喩 失敗	être [tomber] à l'eau <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">R</span>	(水に落ちる→) 失敗する		

隠喩 一目瞭然	être clair comme de l'eau de roche [R] [S]	(岩清水のように澄んでいる→) 一目瞭然である
直喩 正反対	être comme l'eau et le feu [R] [S]	(水と火のようである→) 性格がまったく反対である
隠喩 親密な関係	être [se tenir, nager, naviguer] dans les eaux de qn. [R] [S]	(人の水の中にいる→) と意見を同じくする, 癒着している
隠喩 等価	être dans les même eaux [R] [S]	(同じ水の中にいる→) 相等しい, 等価である
直喩 生き生きと している	être (heureux) comme un poisson dans l'eau [R] [S]	(水の中の魚のようだ →) 水を得た魚のようだ
隠喩 失望する	être [rester] le bec dans l'eau [R]	(くちばしを水につけて いる, くちばしを水につけて魚を待っている姿から→) 失望する, おあずけの状態である
隠喩 浸水する	faire eau [R]	(水にする→) 浸水する, 危機に瀕している
隠喩 容易	faire qc. comme si l'on buvait un verre d'eau [S]	(コップ一杯の水を飲む ように~をする→) やす やすと~する
隠喩 成行にまか せる	Il faut laisser couler l'eau [R]	(水を流れるままにしな ければならない→) 物事 を成行に任せなければなら ない
諺	Il n'est pire eau que l'eau qui dort <sup>3)</sup> [R] [S]	(よどんだ水ほど悪い水 はない→) 表面の穏やか な人間こそ油断ならぬ
	L'eau va à la rivière <sup>4)</sup> [R] [S]	(水は川に流れて行く →) 金は金持に集まる
隠喩 前途有縁だ	Il passera [coulera] de l'eau [beaucoup d'eau] sous les ponts avant que + subj. [R] [S]	(~するまでに橋の下を たくさんの水が流れるだ ろう→) ~するまでにま だまだ時間がかかるだろ う
隠喩 一触即発	Il y a de l'eau dans le gaz. [R]	(ガスの中に水がある →) 一触即発の状態であ る

隠喩 財布が空	Les eaux sont basses <sup>5)</sup> [R] [S]	(水位が低い→) 財政が 逼迫している, 財布が空 である
隠喩 新米の	marin d'eau douce	(甘水の水夫→) 新米の 水夫
隠喩 控え目にな る	mettre de l'eau dans son vin <sup>6)</sup> [R] [S]	(ワインを水で割る→) (要求, 態度を) 和らげ る, 控え目になる
隠喩 愚直	ne pas savoir troubler l'eau	(水を濁すことも出来な い→) 才覚がない, 愚直 である
隠喩 漁夫の利を 得る	pêcher en eau trouble	(濁り水で魚を捕る→) 漁夫の利を得る
隠喩 返り咲く	revenir [remonter] sur l'eau [R] [S]	(水面に再び浮上する →) 返り咲く, 再来する
隠喩 決断する	se jeter [se lancer] à l'eau [R] [S]	(水に飛び込む→) 思い 切った決断をする
隠喩 災難	se jeter [se mettre] à l'eau de peur de la pluie	(雨を恐れて飛び込む →) 小難を恐れて大難を 招く
隠喩 うろたえる	se noyer dans un verre d'eau [une goutte d'eau]	(コップの水 [一杯の 水] の中で溺れる→) な んでもないことにおろお ろする
隠喩 愚直	ne pas savoir troubler l'eau	(水を濁すことも出来な い→) 才覚がない, 愚直 である
ことわざ <sup>7)</sup>	La goutte creuse la pierre	(水滴が石に穴を開ける →) 点滴石を穿つ
隠喩 返り咲く	revenir [remonter] sur l'eau [R] [S]	(水面に再び浮上する →) 返り咲く, 再来する
隠喩 決断する	se jeter [se lancer] à [R] [S] l'eau	(水に飛び込む→) 思い 切った決断をする
引喩 何たる水	Que d'eau! Que d'eau!	何たる水, 何たる水! (1875年大洪水に見舞わ れた Toulouse を訪れた 宰相 Mac-Mahon の言 葉: 物の多さに驚いたと きに使う)



	隠喩 入念な調査	tâter l'eau	(水を手で探る→) 慎重に情報を集める	
(ital.) acqua	隠喩 逼迫	l'acqua alla gola	(喉元に水→) 逼迫する	(河川, 海などの) 水, 雨, 液体, 純度
	隠喩 つまづく	affogare in un bicchier d'acqua	(一杯の水に溺れる→) 些細なことにつまづく	
	隠喩 無駄な努力	pestare l'acqua nel mortaio	(乳鉢の水をたたく→) 無駄な努力をする	
		fare un buco d'acqua	(水の中に穴を作る→) 無駄骨を折る	
	隠喩 うわべの小言	Un rimprovero all'acqua di rose	(バラの水の小言→) うわべだけの小言	
	隠喩 不景気	navigare [trovarsi] in cattive acque	(危険な水の中で航海する [いる] →不景気である, 苦しい状態にある)	
	隠喩 我田引水	tirare l'acqua al proprio mulino	(自分の田に水を引く→) 自分の利益を図る	
	隠喩 済んだことだ	E acqua passata	(それは流れ去った水だ→) 済んだことだ	
	諺	Acqua passata non machina più	(流れ去った水はもう粉を挽かない→) 覆水盆に返らず	
	ことわざ	A goccia a goccia s'incava la pietra	(連続した水滴が石に穴を開ける→) 点滴石を穿つ	
隠喩 内密に	lavorare sott'acqua	(水面下で働く→) 内密に行動する		
(roum.) apa	隠喩 氣勢が上がらない	a nu fi în apele sale	(塩水の中にいない→) 氣勢が上がらない, 沈んでいる	
	隠喩 やたらにしゃべる	a bate apa in puiua	(臼のなかで水を打つ→) やたらにしゃべる	
	隠喩 なくなる	se duce pe apa simbetiei	(土曜日に水を運ぶ→) 消えてしまう, なくなる	
	隠喩 苦境に陥る	a întra apa	(水に入る→) 苦境に陥る	

	隠喩 好転する	a-i veni cuiva apa la moara	(水が水車に届きそうだ →) 情勢が好転する	
	ことわざ	Apele line sunt amagitoare	(静かな水はあてにならない →) 静かな水は最も危険である	
		Picatura mica gaureste piatra tare	(少量の水滴が固い石の 穴を開ける→) 点滴石を穿つ	
(esp.) agua	隠喩 下流	agua(s) abajo	(水を下って→) 下流に	液体, 涙, 汗, 尿, 唾液, 雨 水, 潮の干満, 鉱泉, 屋根の 斜面, (宝石 の) 透明度, 浸水箇所
	隠喩 上流	agua(s) arriba	(水を上って→) 上流に, 強引に	
	頭上に注意	Agua va!	(水が行くぞ→) 頭上に 注意 (昔, 建物の窓から 水や汚物を表の通りに捨 てた時の掛け声から)	
	諺	Algo tendra el agua cuando la bendicen	なんにでもどこかしら良 いところがある	
		Agua pasada no mueve molino	(流れてしまった水は水 車を回さない→) 覆水盆 に返らず	
		Nadie diga [No digas] de este agua no bére.	(私はこの水を飲まない とは誰も言わないだろう →) 断定的に物を言っ てはならない	
		Del agua mansa me libre Dios, que de la brava me guardarèyo [me libro yo]	(静かな流れは底が深い →) 表面穏やかな人ほど 腹の底では何を考 えているか分 からない	
	ことわざ	Continua gotera cava la piedra.	(連続した水滴は石に穴 を開ける→) 点滴石を穿 つ	
	隠喩 殺す	darle agua a (+ uno)	(人に水を与える→) 人 を殺す, 処刑する	
	隠喩 叱る	echarle agua arriba a (+ uno)	(人に上流の水をかける →) 人をこっぴどく叱る	
隠喩 無駄なこ とをする	echar agua en el mar	(海に水を投げる→) 無 駄なことをする		

隠喩 洗礼を施す	echarle el agua a (+ uno)	(人に水をかける→) 人に洗礼を施す
隠喩 決断する	echarse al agua	(水に飛び込む→) あえて危険を冒す
隠喩 一生懸命	echar toda el agua al molino	(すべての水を風車に流す→) 一生懸命に努力する
隠喩 動きがとれない	estar con el agua al cuello	(首まで水の中にいる→) 動きが取れない
隠喩 浪費	gastar dinero como agua	(お金を水のように使う→) 湯水のごとく金を使う
隠喩 楽々と仕事をこなす	hacer (+ algo) como agua	(~を水のようにこなす→) 楽々と仕事をこなす
隠喩 怒る	estar como agua para chocolate	(チョコレートのわりには水のようにだ→) かんかん怒っている
隠喩 柔らかい	hacerse (una) agua en la boca	(口の中では水のようになる→) 舌にとろけるほど柔らかい
隠喩 舌なめずりする	hacersele a (+ uno) (una) agua la boca	(口元によだれが作られる→) 舌なめずりする
隠喩 失敗する	irse al agua	(水に滑り落ちる→) 失敗する
隠喩 我田引水	llevar el agua a SU molino	(自分の風車に水を引く→) 自分の利益ばかりを図る
隠喩 天気が崩れる	meterse en agua el tiempo	(天気の水が入る→) 天気が崩れる
隠喩 言い寄る	mover el agua a una mujer	(女性に水を移す→) 言い寄る
隠喩 無能	no hallar agua en la mar	(海で水を見つけられない→) 無能 [不器用] である

	隠喩 うまいことをする	pescar en agua turbia	(濁った水の中で釣る →) どさくさに紛れてうまいことをする	
	隠喩 がめつい	sacar agua de las piedras	(石ころの中から水を取り出す→) どんな物でも徹底的に利用する	
	隠喩 台無し	ser como agua por San Juan	(サンファンにとって水のようなものだ→) 台無しである, 有り難くない	
	隠喩 元通り	volver las aguas por donde solianir	(? →) (物事が) 元通りになる, 元の鞆に収まる	
	隠喩 へつらう	bailarle a (+ uno) el agua de rosas	(人のバラの水で踊る →) 人におべっかを使う	
	隠喩 楽観的	banarse en agua de rosas	(バラの水の中で水浴びする→) 物事を楽観的に見る	
(port.) agua	隠喩 粗食	a pao e agua	(パンと水で→) 非常に粗食で	雨, (人間の分泌する) 水分, 果汁, 薄いスープ, 液, 透明度, (屋根, 廂の) 斜面, 酪酐, 鉱水, ウェーヴ, 外観, 航跡
	隠喩 すべてを失う	afogarse en pouca agua	(少しの水で溺れる→) つまらないことで参る	
	隠喩 食事療法	agua e sal	(水と塩→) 厳しい食事療法	
	諺	Agua mole em pedra dura, tantoda [bate] até que fura	点滴岩をも穿つ, 得やすいものは失いやすい	
		Aguas passadas nao movem moinho	(すぎさった水は水車を動かさない→) 覆水盆に返らず	
	ことわざ	agua silenciosa é mais peligrosa	(静かな水はもっと危険だ→) 賢人は黙して語らず	
		A continua goteira deixa sinal na pedra	(絶えず滴り落ちる水は, 石にさえ穴を開ける→) 点滴石を穿つ	
	隠喩 他人の利益のために働く	aqueantar agua para o mate dos outoros	(他人のマテ茶のために水を温める→) 他人の利益のために働く	

隠喩 陰口を言う	beber agua nas orelhas dos outros	(他人の耳の中で水を飲む→) いつもこそこそ陰口を言う
隠喩 無駄な努力	carregar agua em cesto (peneira)	(かご・ふるいで水を運ぶ→) 無駄な努力をする
隠喩 解決を引き延ばす	cozinhar em agua fria	(冷たい水の中で煮る→) 解決を引き延ばす
隠喩 困難をひきおこす	dar agua pela barba	(顎ひげに水を与える→) 困難を引き起こす
隠喩 失敗する	dar em agua de barrela	(灰汁の水の中に入れる→) 水泡に帰す, 失敗する
	ficar em aguas de bacalhau	(タラの水の中に留まる→) 失敗する
隠喩 経験の浅い	de agua doce	(甘い水の→) 経験の浅い
隠喩 無駄な努力	enfiar agua no espeto	(水に串を刺す→) 無駄な努力をする, 時間を浪費する
隠喩 汗びっしょり	estar num lago de agua	(池の中にいる→) 汗びっしょりである
隠喩 怒りっぽい	ferver em pouca agua	(少しの水で沸騰する→) 怒りっぽい
隠喩 余計なこと	lancer [jogar] agua no mar	(海に水を投げ入れる→) 余計なことをする
隠喩 我田引水	levar agua ao seu moinho	(自分の水車小屋に水を導く→) 望むことを達成する
隠喩 下心を持つ	levar [trazer] agua no bico	(口に水を運ぶ→) 何かたくらみがある, 下心を持つ
隠喩 恩知らず	sujar agua que bebe	(水を飲むより水を汚す→) 忘恩行為をする

ロマン諸語に共通の諺としては静かな水の流れば底が深いから、表面穏やかな人は腹の底では何を考えているか分からない危険な人である。水滴が石に穴を開けるから点滴石を穿つ。ルーミア語を除くロマン諸語では、自分の田〔風車〕に水を引く、他人の風車に水を引くから自分の

利益を図る, 他人の利益を図るの意。覆水盆に返らずの諺ではイタリア語は流れ去った水は粉を挽かない, スペイン語とポルトガル語では流れ去った水は風車を回さないの表現である。無駄な努力をするの意では, フランス語では棒で水を打つ, 水の中の剣の一撃, イタリア語では乳鉢の水をたたく, 水の中に穴を作る, スペイン語ではざるで水をすくう, 海に水を投げる, ポルトガル語ではかごで水を運ぶ, 水に串を刺すなどである。バラの水で, フランス語では感傷的な, イタリア語ではうわべだけの, スペイン語では楽観的な意である。フランス語とスペイン語では口元に水, つまりよだれの *métonymie* (換喩) で, 前者は欲しくてたまらない, 後者は舌なめずりするの意ではほぼ同じである。フランス語とスペイン語では濁り水で魚を捕るから前者は漁夫の利を得る, 後者はどさくさに紛れてうまいことをするの意。水に飛び込むことから前者は思い切った決断をする, 後者はあえて危険を冒すの意で類似している。喉元に水 [首まで水の中にいる] から前者はイタリア語で逼迫するの意, 後者はスペイン語で動きが取れないの意。フランス語だけにみられるものとしては, 最低水位から不景気, 水位が低いから財布が空であるの意。ワインを水で割るから控え目になる, 水を濁すことも出来ないから才覚がないの意。水面に再び浮上するから返り咲くの意。水と火のようであるから正反対の意, イタリア語だけにみられるものとしては, 一滴の水に溺れるから些細なことにつまずくの意。危険な水の中で航海するから不景気であるの意。水面下で動くから内密に行動するの意, 流れ去った水から済んだことの意。ルーマニア語だけにみられるものとしては, 海水の中にいないから氣勢が上がらないの意。水に入るから苦境に陥る, 臼の中の水をたたくからやたらにしゃべるの意。スペイン語だけにみられるものとしては, 昔, 建物の窓から水や汚物を通りに捨てたときの掛け声「水が行くぞ」から頭上に注意, 人の水の前で踊るからおべっかを使う, 人に水を与えるから人を殺す, 人に上流の水をかけるから人をこっぴどく叱る, 人に水をかけるから人に洗礼を施す, お金を水のように使うから湯水のごとくお金を使うの意, ポルトガル語だけにみられるものとしては, 水とパンでから非常に粗食での意, 少しの水で溺れるからつまらないことで参るの意, 水と塩から厳しい食事療法の意, 冷たい水の中で煮るから解決を引き延ばすの意。水は人間が生きていく上において基本的なものであることから, ルーマニア語を除くロマンス諸語において表現は多様である。

## 2-2. eau・水による比喩表現の要因

	特性	諺 (ことわざ)	連想	引用 (風習)	その他	合計	R	S
フランス語		2(1)	40			42(1)	R 30	S 20
イタリア語		1(1)	9			10(1)		
ルーマニア語		(2)	3		2	5(2)		
スペイン語	3	4(1)	17	1	5	30(1)		
ポルトガル語	2	2(2)	12		6	22(1)		

## 注

- 1) 表現の用例は「小学館ロベール仏和大辞典」からによるものであるが、同辞典と同種の表現が「ロワイヤル仏和中辞典」及び「新スタンダード仏和辞典」にある場合には前者を[R], 後者を[S]と記すことにする。
- 2) 16～17世紀に良く用いられていた表現である。
- 3) 1世紀のローマの歴史家クルティウス・ルプスの言葉に「*Altissima (quaeque) flumina minimo sono labuntur*」(すべてのはなはだ深き河ははなはだ少なき音をもて流る)とあることから、このことわざは古代の作家に源を仰いでいることが分かる。(渡辺高明他編:「フランス語ことわざ辞典」, p. 102)
- 4) 山に降った水は低いところと山肌を流れて行く。これを常に繰り返すうちには自然に水道(みずみち)ができ、水がおのずからそこに集まる。これと金持が金をためるのは同じだというわけ。また、この諺は高い地位にあるものがその広い影響力によって、容易に名誉や快樂を手に入れるという意味も含んでいる。(田辺貞之助:「フランス故事ことわざ辞典」, p. 44)
- 5) 財布がほとんど空のことをいう。水が低い、つまり引き潮のときには魚がとれないと一般に考えられているからである。(上掲書, p. 45)
- 6) ギリシアの哲学者や歴史家たちは、ぶどう酒を水で薄めることを思いついた時、皆がどれほど驚嘆したかを語り伝えている。酒に酔って目にあまる犯罪を犯す者が多く出たところから、この発見は彼らの目をみはらせたものらしい。それを思いついたのはバッカス神自身であり、何人かの偉大な人物たちによって、実行に移されたと言い伝えられている。(渡辺高明他編:前掲書, p. 102)
- 7) ことわざの項の表現は、伊藤太吾著「ロマンス語ことわざ辞典」からのものである。

## 参考文献

- 池上峯夫他編 (2003):「現代ポルトガル語辞典」, 白水社  
 池田廉他編 (1983):「伊和中辞典」, 小学館  
 伊藤太吾著 (2001):「ロマンス語ことわざ辞典」, 大学書林  
 L. ウィセール編, 仲里誠毅編訳 (1985):「科学と精神世界の出会い」, たま出版  
 桑名一博他編 (1990):「西和中辞典」, 小学館  
 「小学館ロベール仏和大辞典」(1988), 小学館  
 尚学図書編 (1982):「故事・俗信ことわざ辞典」, 小学館  
 鈴木信太郎他著 (1987):「新スタンダード仏和辞典」, 大修館書店  
 田辺貞之助編 (1977):「フランス故事ことわざ辞典」, 白水社  
 田村毅他編 (2005):「ロワイヤル仏和中辞典」, 旺文社  
 直野敦著 (1984):「ルーマニア語辞典」, 大学書林  
 山崎正一著 (1988):「人間の思想の歩み」, 講談社  
 渡辺高明他編 (1983):「フランス語ことわざ辞典」, 白水社  
 Rey, A et Chantreau, S (1985): *Dictionnaire des expressions et locutions*, Paris, Robert

